

平成27年度農業後継者特別支援事業

事業主体名 和泊町農業青年クラブ

1 目的

現在イタリア料理は日本全国で人気を博しており、「ロマネスコ」や「コールラビ」など、イタリアで生産されている特殊な野菜を活用したメニューが豊富である。また、大消費地のイタリア料理店では、イタリアからの輸入野菜を利用しているケースが多いが、材料の安定調達や、安心・安全の観点から、国産のイタリア野菜を求めるシェフも多いとの情報がある。

そこで、和泊町の温暖な気候と安心・安全な生産技術を活用して、イタリア野菜の生産・販売実証を行うことにより、沖永良部島の新規品目としての導入を検討する。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

(1) 「ロマネスコ」の生産実証の実施

地元種苗店で種を購入し、セルトレイ育苗を行いました。発芽率も良く、初期生育は大変順調で、クラブ員、関係者共に大きな夢が膨らみましたが、途中からどんどん生育が悪くなり、半分以上が枯死してしまいました。

原因は、水と肥料の過剰であることがわかり、2回目の育苗から、幾分改善することができました。

その後も、大量の害虫との戦いがありましたが、なんとか商品価値のあるものを収穫することができました。

見事なできばえに、クラブ員も感動しています。



収穫した「ロマネスコ」

(2) 先進地（沖縄）視察研修の実施

育苗技術、本ぼでの栽培技術、販売方法などの情報を収集するため、沖縄県への視察研修を実施しました。

鹿児島島の種苗会社から、沖縄の種苗会社を紹介いただき、沖縄での様々な取組について、情報をいただきました。

特に、育苗について、当初簡単に考えていましたが、これが一番難しい技術だということに気づかされ、前述した失敗事例の原因も明らかになりました。

また、種苗会社や生産者の方々と交流することができ、今後の活動における心強い助っ人を得ることができました。



沖縄への先進地視察研修

(3) 成果発表会及び試食会の実施

地元のイタリア料理店において、和泊町長をはじめ、関係者をお呼びし、1年間の取組についての成果発表会と、収穫したロマネスコを活用したメニューの試食会を開催しました。

今後の取組に対する激励をいただき、また、地元メディアも大きく取り上げていただきました。



成果発表会&試食会の開催

3 今後の課題、取り組み

- ロマネスコの栽培技術の改良
- その他のイタリア野菜の栽培実証
- 島外の実需者（鹿児島市内）への営業活動
- 実需者への試験販売の実施